

# 読売新聞 & 早稲田大学 プロフェSSIONALS・ワークショップ 2023

## 「ニュース・リテラシー」を伝えるには？

～新聞記者と考える～

### テーマの概要

現代の社会は情報があふれています。とりわけインターネットとソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）の急激な普及によって、情報を発信するメディアの形態が多様化し、事実とはほど遠い「フェイクニュース」や、著しく偏った言論が世界中で飛び交うようになりました。

こうした状況下で、社会をよりよくするための議論を重ねるには、前提として一人一人が様々な情報の中から正確で信頼できるニュースを見分け、内容を読み解く必要があります。その力こそが「ニュース・リテラシー」です。

読売新聞社では、未来を担う子どもたちにニュース・リテラシーを身につけてもらう教育活動に乗り出しました。小中学校や高校でモデル授業を行い、教室で活用できる教材の開発にあたっていますが、本ワークショップでは皆さんと最も近い高校生を対象としてどんな授業が効果的かなど、若い皆さんと一緒に考えたいと思っています。

ニュースについて議論するには、ニュースがどのように生まれるのか、知ることも大切です。このため、読売新聞のベテラン記者に取材して、記事を書いていただき、添削などのフィードバックも行う予定です。

ニュース・リテラシーを考えることは、皆さんが社会で活躍する上でたくさんの情報と向き合うための眼力を磨いてくれるでしょう。特にマス・メディアや教育に興味がある人にはお勧めです。皆さんの応募をお待ちしています。

### 読売新聞社とは

読売新聞社は、世界最大部数の日刊紙を発行する、日本有数の報道・言論機関です。全国に取材網を張りめぐらし、海外にも多数の取材拠点を置いています。本ワークショップは、若い皆さんにジャーナリズムに関心を持ってもらおうと、2019年度から毎回テーマを変えて実施しており、今年度で5回目になります。

### プロフェSSIONALS・ワークショップとは

企業が提示した課題について、早稲田大学の学生たちが解決に向けた提言に取り組みます。本ワークショップでは、読売新聞記者の指導のもと、ニュース・リテラシーの考え方を学んだり、取材を体験したりしながら、具体的な指導案をまとめ発表してもらいます。通常の就業体験インターンシップとは異なる実践型の社会連携教育プログラムです。

## 募集概要

募集期間	2023年9月11日(月)～9月24日(日) 23:59 [期間厳守]
募集対象	早稲田大学に所属する正規学部生・大学院生(修士課程)(学部、専攻、学年問わず)
応募条件	<b>原則として事前説明会および全公式日程(次頁)への参加が可能なこと</b>
募集人数	10名程度
応募方法	<p><b>以下の手順もしくは右のQRコードのリンク先から申請してください</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>① MyWaseda にログイン</li><li>② お知らせ一覧から「プロフェッショナルズ・ワークショップ 2023 秋冬編」を検索</li><li>③ 「プロフェッショナルズ・ワークショップ 2023 秋冬編応募フォーム」から「申請」をクリック</li><li>④ 必要事項(志望理由 400 字程度、面接選考希望日時など)を入力して申請</li></ol>  <p>■事前説明会(オンライン、質疑応答可) 9/15(金) 11:00～11:30 参加方法等、詳細は配信メール中に記載 ※当日参加できない方は収録録画を視聴いただきます(事務局へご連絡ください)</p>
選考方法	<ol style="list-style-type: none"><li>① 書類選考: 志望理由などをもとに選考します 書類選考通過者には、面接日時を9月28日(木)までに Waseda メールにて通知します</li><li>② オンライン面接選考: 9月29(金)、10月2日(月)、3日(火) 10:00～16:00 うち30分程度 面接内容をもとに総合的に選考します 面接選考の結果は、10月6日(金)までに Waseda メールにて通知します</li></ol>
注意事項	<ol style="list-style-type: none"><li>①当ワークショップは一般授業とは扱いが異なります。成績評価・単位認定等はありません</li><li>②当ワークショップは原則として対面で活動します。主に早稲田キャンパスにて行いますが、読売新聞東京本社(千代田区大手町1-7-1)など学外においても実施する場合があります。</li><li>③【重要】公式日程以外にも、自主的にグループワークやリサーチなどを実施する機会が多く、期間中は当ワークショップの活動が中心となるよう、スケジュール管理はくれぐれも注意してください。 ※公式活動日は活動時間前後の時間も余裕をもって確保してください。</li><li>④オンラインで活動する場合があります。その場合、「公共の場所では参加しない」「ヘッドセットなどを装着する」など、第三者に実習内容を知られることがないよう措置を講じてください。</li><li>⑤参加にかかる費用(対面で実施する際の交通費、食事代、オンラインでの活動に必要な端末の購入費、通信費等)は、参加者による自己負担です。</li><li>⑥早稲田大学の学生補償制度(損害補償・賠償責任補償)に加入いただきます。</li><li>⑦ワークショップ実施日と重複する授業等を欠席した場合、<b>公欠扱いとはなりません。</b></li><li>⑧ワークショップでは連携先、大学がInstagram等公式 SNS を含む広報活動の目的で写真・映像を撮影します。掲載の際には個人特定されないよう十分留意いたしますが、あらかじめご了承ください。</li><li>⑨このプログラムは、グローバルエデュケーションセンター実践型教育プログラム「地域連携実践コース」の対象プログラムです。※2023/9/21 追記</li><li>⑩選考結果に関する問い合わせにはお答えいたしかねます。あらかじめご了承ください。 ※新型コロナウイルス等の状況によって、プログラム内容等に変更が生じる場合があります</li></ol>
問合せ先	教務部教育連携課プロフェッショナルズ・ワークショップ担当 ( <a href="mailto:propro@list.waseda.jp">propro@list.waseda.jp</a> ) ※問い合わせの際には、件名のほか所属学部/研究科、学年、氏名を必ずメール本文に含めてください。

## ワークショップスケジュール（公式日程）

	日程		内容
10月	第1回	10月10日（火） 17:30～19:30	オリエンテーション：自己紹介・顔合わせ、記者との座談会、レクチャー「ニュース・リテラシー」 ※早稲田大学
	第2回	10月17日（火） 17:30～19:30	読売新聞社見学、模擬取材体験 ※大手町
	交流会	10月18日（水） 17:00～19:00	ミニゲームやワークを通して参加学生同士の親睦を深める（企業担当者の出席はありません） ※早稲田大学
	—	随時	ディスカッションに向けたリサーチ
	第3回	10月24日（火） 17:30～19:30	新聞社見学を踏まえたグループワーク 早稲田大学
	—	10月18日（火）～ 10月23日（月）	記事原稿作成
	第4回	10月31日（火） 17:30～19:30	作成原稿フィードバック、グループワーク ※早稲田大学
11月	第5回	11月7日（火） 17:30～19:30	グループワーク ※早稲田大学
	第6回	11月14日（火） 17:30～19:30	グループワーク「発表案検討」 ※早稲田大学
	第7回	11月21日（火） 17:30～19:30	中間報告会 ※早稲田大学
	第8回	11月28日（火） 17:30～19:30	グループワーク ※早稲田大学
12月	第9回	12月5日（火） 17:30～19:30	リハーサル・グループワーク（最終報告会準備） ※早稲田大学
	第10回	12月12日（火） 18:00～20:00	最終報告会・提言発表 ※大手町 ※最終報告会終了後、振り返り会（1時間程度）を実施するため、解散時刻は21:00頃となります。

※各回、授業等により欠席／遅刻／早退となる場合は応募フォームにて、理由とともにその旨お知らせください。

※各回の終了時刻は目安です。自主ワークなど時間を延長する可能性があります。

※公式以外の日程は、必要に応じて参加学生同士で相談し、自主的に集まる日程やオンラインでの会議等のスケジュールを決め、ワークショップを進めていきます（学生同士の話し合いに大学職員が参加することもあります）。

※形式、場所は状況に応じて適宜変更の可能性があります。

※全てのワークショップ活動終了後、振り返りならびにワークショップに関するアンケートを回答いただきます。